

●Design Report(出展傾向)
クオリティー傾向

ファブリックの加工技術の進化は、毎回新しい表現を生み出す。
軽さ、ゆかさ、陰影をもたせた素材は、シーンの中で、光や空気の流れにより時として表情に変化を与える効果が重視されている。
資材的なハードなモノからハンドメイド調、素朴なモノまで様々なバリエーションの加工が見られる。

快適性を追求したテクノロジー素材
メランジ、ケーブル、ゴマスク、オーロラ調、本物以上のフェイクレザーやコットンライク、薄いつりゅうもぬ、エコ対応、省エネ効果



鋭い光沢感のあるメランジ加工やケーブル加工を全面に施したり、モチーフにたデザインもあり




繊細なブリーツ加工の凹凸感と鋭い光沢感で本物以上に優れた機能を持つフェイクレザー、様々な素材の組み合わせ、コーティング加工




工業用資材からのインスピレーション、ハードに見えてソフトな質感


オープンワーク
より複雑なパターンやカラーバリエーションを展開。レーザーカットやハンドワーク、形状による不均一感が特徴。



風に漂う陰影やパターン形状の変化を楽しむ、素材自体の光沢や細かい凹凸感が、更に表情に変化を与える



レーザーカットやヒートカットによる、自由な形でオープンワーク加工



一律のパターン化はしているが、ゆるさやいい加減さが味わいのポイント

ストラクチャー
固い質感としたイメージからゆるやかな動きのあるアットランダムで自由な立体感のある表情へ変化。



曲線的な流れのある立体感



陰影のある、軽く、薄いつりゅうもぬ、凹凸感が特徴



ケーブルライクな起毛素材やジョーゼット、リボンテープ、フリンジなど様々な素材でレリーフワーク

●Design Report(出展傾向)
テクニク・スタイル傾向

エレガントなスタイル傾向がインテリアのテイストやディテールに施されている。
伝統的なモノやこれまで培われてきた手法に、これまでと違う要素を加えたり、置き換えたり、見直すことで、新たな基準のエレガンスを発信している。

クラシック リファイン
クラシックな要素を残し、軽さ、シックな要素が加わったニューアレンジメント。(カラーアレンジ、デジタル表現、シンプル化)



ダークなカラーからライトなカラーまで気軽に楽しめるカータッセル



従来のインテリアに使用されていた素材をタオルに活用



従来のクラシックな塗り模様素材も、トレンドカラーでシンプルな色使いをしたり、ストライプや水玉と組み合わせることでモダンな印象に変える

オーナメントを大形のレイアウトでシンプルに装飾を加味

クラシックなパターンをシンプル化、但し刺繍表現で上質感をキープ

ハンドクラフト
ハギレのような布やスラブヤーンをレリーフ、パッチワーク、ミシンステッチでフリーワーク。素材×色×縫い目×刺繍のコレクション



様々なハギレや糸を活用して、ハンドメイドでアートライクなアイテムを展示/ネリー・ロディのコレクション



フリンジ、リボンテープをポイントにしたバリエーション、両素材だけでなく、異素材やテクスチャーヤーンで変化を楽しむ



ウォッシュアウトの味わい

切りっぱなし処理+異素材+ミシンワーク

“カワイイ”をインスピレーション
ファッション性のあるライフスタイルの展開に注目。ガーリーでピンチなテイストの演出や大人カワイイ世界を表現。



時代性やテイスト、グラフィカルなアートなど様々な要素をミックスしたガーリーなコレクション



大人の女性にも支持されるアリティでロマンティックなコレクション、インテリア雑貨や小物まで一トータル展開

